

市民の皆さんからの

「市政への提案」を

紹介します

「市政への提案」の制度は、市政に関する建設的な意見および提案を市民から求め、今後の市政運営の参考とすることにより、市民参加・参画のまちづくりを推進することを目的としています。

平成29年度は、51件の意見および提案がありました。誠にありがとうございました。

寄せられた中から、主な「市政への提案」とその概要を掲載します。

●問い合わせ先 秘書広報課

「コミュニティバスの運行を

提案

最近、高齢者の車の事故が多発しています。免許を返納したくても買い物や病院通いが不便になるので返せない、との声を多く聞きます。

ぜひ、筑紫野市も「コミュニティバス」を早急に運行していただけたらと思います。計画であれば具体的に教えていただけないでしょうか。できれば弱者に優しい方向で進めていただけたらと思っています。

回答

市では、将来にわたり持続可能で便利な公共交通網をつくるため「筑紫野市地域公共交通網形成計画」を定めています。

「提案のコミュニティバスの導入など地域公共交通のあり方については、この計画に基づき、カミリーヤを発着点とする巡回福祉バスとの連携などの検討を重ねながら福岡運輸支局や交通事業者との協議を行っているところです。

●その後の取り組み

関係機関等で構成する筑紫野市地域公共交通会議において、検討を進めています。

課の名称について

提案

筑紫野市役所の組織機構の中に「戦略企画課」という課があります。この「戦略」という言葉から戦争をイメージする児童もいるようです。自分たちが住んでいる筑紫野市がなぜ戦争に関わっているのだらうと間違った印象を持ってしまいう子もいます。このことは筑紫野市のマイナスイメージになると考えます。組織機構名称の見直しを行ってはどうかでしょうか。

回答

「戦略企画課」は、戦略企画担当、情報政策担当、庁舎建設検討担当の3担当で構成しており、市の重要施策の企画・調整、電子計算業務や地域情報化、新庁舎建設をそれぞれ担っています。「戦略」という言葉は戦いに関連する意味もありますが、「組織などを運営していくに当たって、将来を見通して立てる方策」の意味もあり、一般的に使用されている言葉であると考えています。

「提案の」間違った印象を持ってしまいう子もいる」という点を参考に、「子どもたちもイメージしやすく理解を深めることができる」、「市民に親しみやすく分かりやすい組織づくりのため検

討を行っていきます。

●その後の取り組み

市の組織機構の見直しを行い、平成30年4月1日から戦略企画課の課名を「企画政策課」に改めました。

運動会の開催時期について

提案

小学1年生の子どもの母親です。5月は運動会の練習で毎日疲れて帰ってきていました。入学してすぐの練習で心身ともに負担が大きかったように思います。暑さのこともありますし、秋の運動会の実施はできませんか。

回答

運動会については、学校生活に慣れ集団行動様式を身につけるとともに、仲間づくりを行う上で重要な機会であると考え、年度当初に行っています。

小学1年生は、まだ学校生活に慣れていない頃であり、体力的な心配もありますので、子どもたちの状況に応じた種目を検討し、それに基づいて練習内容を判断しているところです。

心身の心配事があれば遠慮なく学校へ伝えていただきたいと思います。学校と情報を共有することにより、状況に応じた対応ができると考えています。

天拝公園の公衆トイレに 表示を

提案

天拝公園の公衆トイレに「天拝山頂上までに他のトイレはありません」という旨の案内を掲示した方が親切だと思います。

回答

ご提案のとおり、天拝山登山道入口のトイレが山頂へ行くまでの最後のトイレであり山頂および登山経路には、トイレがありません。ご提案の通り、天拝山登山道入口の先トイレはあります。ご注意くださいという看板を設置し周知を図ります。



看板を設置しました

総合公園の設備について

提案

筑紫野市総合公園には屋根つきの施設は少なく、涼しさを感じる場所が少ないです。涼しさを求めるならトイレもあるのでしょうか、風は全くありません。もし天井扇があれば涼しさを感じられるでしょう。

回答

屋根つきの施設については、ハイキング公園に東屋を4カ所建てています。公園の広さを考えるとご提案のとおり十分ではないと思われます。涼をとるための一例として東屋の増設や樹木の植樹などが考えられますが、今後の検討とします。

また、トイレについては涼をとるために設置したものではありませんが、快適に利用できる方法を今後の検討とします。

橋りょうの耐震化について

提案

桜台に西鉄天神大牟田線に架かる、小さな跨線橋があります。この橋りょうは、恐らく橋齢は約45年以上と想像しますが、見かけるところ地震対策の落橋防止工事が施されていません。当橋りょうの下は西鉄電車が頻繁に通過しています。耐震工事を前提として調査設計を行いますよう提案します。

回答

近年、橋りょうなどの老朽化が懸念されています。市では「橋梁(りょう)の長寿命化修繕計画」を策定し、橋りょうの長寿命化を図るとともに、維持補修費の平準化やライフサイクルコスト

の縮減、道路網の安全性、信頼性を確保することを目指しています。現在は、法令で定められた方法と頻度により、市が管理する全ての道路橋について点検を実施し、その結果に基づき、順次補修を行っているところです。

ご提案の桜台の跨線橋については、平成27年度に実施した法定点検では、早期に措置を講ずべき状態などではありませんでしたが、ご指摘のように、万が一のことによる社会的影響度が大きいことに十分留意し、維持管理を行ってまいります。

巡回福祉バスの運行時間について

提案

他のコースは大体2時間おきにありますが、二日市南コースだけ14時20分から18時10分と4時間運行がありません。皆さん、夏の暑い時に14時20分発のバスで帰らざるをえません。また、高齢者にとって次の18時10分発は遅すぎます。一番必要な17時前後の時間の運行をぜひお願いします。

回答

現行の巡回福祉バスの時刻設定については、平成27年度に各行政区へバス停設置要望調査を行い、6つのコース、3台のバス運行の中で行っています。

運行可能な便数には限りがあることから、便によってはバス利用者の皆さんに不自由をおかけしますがご理解をお願いします。

今後の巡回福祉バス運行の見直しについては、平成28年3月に策定した「筑紫野市地域公共交通網形成計画」に基づき調査研究しており、目標年次である平成31年度を見据え、利便性の向上に努めていきたいと考えています。

「市政への提案」の封筒と用紙は無料で提出することができます。封筒は市役所、生涯学習センター、カミリーヤ、各コミュニティセンターなどに設置しています。また、市ホームページからも受け付けています。市民の皆さんからの提案をお待ちしています。

